



平成26(2014)年 山梨大学附属図書館 近代文学文庫展示  
「生誕150年記念 二葉亭四迷と明治文学の世界」 展示資料一覧

例)

番号	書影	著者名
		書名
		出版年
		出版社

1. 「近代文学」の出発 ― 坪内逍遙と二葉亭四迷

1		坪内逍遙
		『当世書生気質』
		明治19(1886)年4月(初版)
		暁星堂
2		春の家おぼろ(坪内逍遙)
		『桐一葉』
		明治29(1896)年2月(初版)
		春陽堂
3		坪内逍遙
		『文芸と教育』
		明治35(1902)年6月(初版)
		春陽堂
4		坪内逍遙・内田魯庵編
		『二葉亭四迷』
		明治42(1909)年8月(初版)
		易風社
5		二葉亭四迷
		『浮雲』(復刻版)
		原本:1896年(明治29)6月
		東京金港堂
6		二葉亭四迷
		『カルコ集』
		明治40(1907)年12月(初版)
		春陽堂
7		二葉亭四迷訳(アンドレーエフ著)
		『血笑記』
		大正3(1914)年12月(3版)
		靱山書店

8		二葉亭四迷
		『其面影』
		大正5(1916)年3月(初版)
		春陽堂
9		二葉亭四迷
		『平凡』英訳本
		昭和2(1927)年5月(初版)
		北星堂

## 2. 「近代文学」への試行

— 「紅露時代」と樋口一葉


10		尾崎紅葉
		『金色夜叉』
		明治31(1898)年7月(初版)
		春陽堂
11		幸田露伴
		『尾花集』
		明治25(1892)年10月(初版)
		青木嵩山堂
12		泉鏡花
		『照葉狂言』
		明治33(1900)年4月(初版)
		春陽堂
13		泉鏡花
		『風流線』
		明治38(1905)年11月(再版)
		春陽堂
14		樋口一葉
		『たけくらべ』
		昭和2(1927)年1月(6版)
		博文館
15		樋口一葉
		『一葉全集』
		明治43(1910)年7月(29版)
		博文館
16		樋口一葉
		『一葉歌集』
		大正2(1913)年3月(3版)
		博文館

## 3. 「浪漫主義」の人々

— 透谷、晶子、啄木ら

17		外山正一・矢田部良吉・井上哲治郎
		『新体詩抄』(復刻版)
		原本:1882年(明治15)7月
		丸善
18		「スバル」創刊号(復刻版)
		原本:1909年(明治42)1月
		昂発行所
19		北村透谷
		『透谷集』
		明治27(1894)年10月(初版)
		文学界雑誌社
20		与謝野晶子
		『みだれ髪』
		明治43(1910)年8月(初版)
		東京新詩社
21		石川啄木
		『一握の砂』
		明治43(1910)年10月(初版)
		東雲堂
22		正岡子規
		『子規随筆』続編
		明治35(1902)年12月(初版)
		吉川弘文館

4. 森鷗外と夏目漱石 — 明治の二大文豪

23		森鷗外
		『水沫集』
		明治39(1906)年7月(第4版)
		春陽堂
24		森鷗外訳(ハウプトマン著)
		『寂しき人々』
		明治44(1911)年7月(初版)
		金尾文淵堂
25		森鷗外
		『雁』(復刻版)
		原本:1915年(大正4)5月
		靱山書店
26		夏目漱石
		『吾輩ハ猫デアル』
		明治39(1906)年9月(7版)
		大倉書店
27		夏目漱石
		『漾虚集』
		明治40(1907)年9月(改訂3版)
		大倉書店
28		夏目漱石
		『虞美人草』
		明治43(1910)年9月(6版)
		春陽堂
29		夏目漱石
		『それから』
		明治43(1910)年1月(再版)
		春陽堂

5. 「自然主義文学」の達成 — 藤村と花袋

30		国木田独歩
		『武蔵野』
		大正3(1914)年1月(31版)
		梁江堂書店
31		国木田独歩
		『欺かざるの記』
		大正13(1924)年9月(再版)
		国民教育普及会
32		徳富蘆花
		『思出の記』
		明治42(1909)年5月(第34版)
		民友社
33		島崎藤村
		『破戒』
		明治39(1906)年7月(第4版)
		私家版
34		田山花袋訳(トルストイ著)
		『哥薩克兵』
		1904年(明治37)10月(初版)
		博文館
35		田山花袋
		『花袋集』
		明治41(1908)年5月(5版)
		易風社